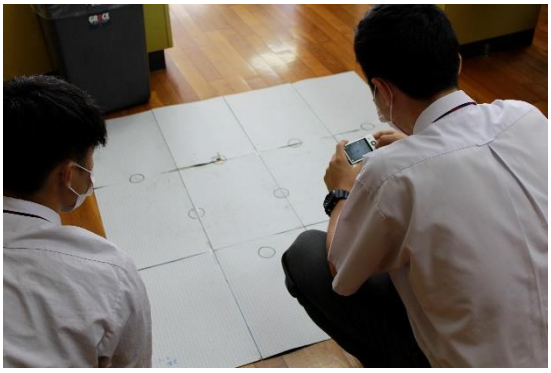
令和２年６月　球陽 SSH 活動記録

SS 理数探究Ⅲがスタートしました！（2020.6.2.火）



SS 理数探究Ⅲは SS 理数探究Ⅱ（理数科2 年で実施）で研究した内容を論文にまとめています。これまで主にポスターやスライドで研究を説明してきたことを文章のみで伝えようとすると、誤解が生じないように言葉を選び、過不足なく文章を構成しないといけないので、論理的思考や表現力が養われます。また、研究要旨は全グループが英語へ要約するので、英語の活用能力も養われます。

どのグループもこれまでの研究を改めて見直して確認のため実験をし直すグループや周辺研究を調べて理論を補填するグループなど、積極的な活動が見られました。

学校設定科目「SS 理数探究Ⅰ」がスタートしました！（2020.6.9.火）

今年度から大きくリニューアルした SS 理数探究Ⅰがスタートしました! 今年度から探究活動に必要な汎用的な能力（批判的思考、論理的思考・表現力など）の育成を図るため、4 つのラウンド（講座）を開設しています。クリティカルシンキングラウンドでは、科学史や実際の研究データを用いながら、データの疑い方を学びます。データ表現ラウンドでは、図表の正しい作成方法や視覚化の方法を学びます。データ解析では疑似データを用いてデータの相関性やパターンの発見の仕方、考察の仕方を学びます。統計処理ラウンドでは、統計の概念やデータの取り扱い方について学びます。どの授業も盛んに議論が行われ、これからが楽しみです。

学校設定科目「SS 理数探究Ⅱ」　テーマ検討会（2020.6.10）

本校の運営指導員をしてくださっている、琉球大学の先生方をお呼びして、テーマ検討会が行われました。昨年度末から今年度始めに休校がありましたが、生徒は放課後や昼食時間を利用して、どのようなテーマで研究するかを考え、予備実験・調査等を行い、それらの結果を踏まえながらの発表となりました。今回の発表を通して、表現の難しさ等を実感したと思います。また、質疑応答を通して、知識不足や、自分たちが一体何を明らかにしていくのか改めて考え直す必要がある等々、様々な課題が見えてきたはずです。これからも頑張っていきましょう。

第１回運営指導委員会（2020.6.10.水）

SS 理数探究Ⅱのテーマ検討会の後、運営指導員の先生方と関係職員を交えて、ラボ室にて第１回運営指導員会を行いました。今年度の運営指導員は、琉球大学から木暮一啓先生（理事・副学長）、辻瑞樹先生（農学部教授）、杉尾幸司先生（大学院教育学研究科教授）、古川雅英先生（理学部教授）、照屋俊明先生（教育学部教授）、福本晃造(教育学部准教授)、前野昌弘先生（理学部准教授）、山城康一先生（教育学部准教授）、以上８名の先生方に引き受けて頂きました。

委員会の中では、今年度の SSH 事業計画やテーマ検討会の振り返りを行いました。